井上ひさ子市政事務所だより

2004年12月号 NO.1

日本共産党
井上ひさ子
市政事務所

札幌市手稲区
前田1条12丁目
3−1
TEL 684-4533
FAX 684-4534

区役所交渉を行いました！

井上ひさ子議員も参加！

金山五叉路のカーブミラーについても

手稲区民の要求を実現する連絡会

39項目の要望で区が回答

手稲区民の「要求を実現する連絡会」は、十五日、手稲区長に対し、先に提出しておりました、三十九項目の要望についての回答を受けました。

区側から関係部局の部長、課長が、全員出席しました。新日本婦人の会の藤田事務局長と、井上市議が挨拶をし、区を代表して塚崎和義市民部長があいさつをしました。

曙三条一丁目の道路の改修については、「町内会と協議し、早い時期に整備工事を行うようにしたい。」と回答。

金山二条二丁目の五叉路のカーブミラー改善については、「安全確認が十分に果たせない箇所が見受けられるので、検討のうえ改善する。」と回答。

樽川通りの歩道の、インターロッキングブロックについては、「来年度中に補修する。」との回答。

下手稲公園の遊具、東屋のペンキ塗り替えについては、「融雪後に補修を行う。」との回答がありました。

参加者からは、子供の通学路の安全確保について、敬老パスについて、市民の声を十分聞くように、国保の減免について、医療費が対象にならないのはなぜか、実態にあうように戻してほしい等、切実に訴えました。

70億円にのぼる負担増計画撤回を

第四回定例市議会にて

小形議員代表質問

十四日で閉会した第四回定例市議会の代表質問は、中央区選出の小形議員が質問にたちました。

この中で上田市長は、七十億円の市長負担増となる「構造改革プラン案」と「敬老パスの新制度案」を表明しました。

小形議員は、「ゴミ有料化や保育料の値上げなど七十億円という市政史上、例をみない。市民負担増の計画で不況下に苦しむ市民生活を無視した計画だ。」と批判し、大型事業の先送りと、負担増計画の撤回を求めました。

敬老パスについては、事情によって使えなくなった場合の払い戻しや追加購入、紛失した場合の対応をただしました。

市長は、いずれも「難しい。」とし、「市民の一定の理解と納得が得られているものと考えています。」と答弁しました。

傍聴席から非難の声があがりました。

野菜の安定供給へ努力

小形議員は、台風被害と年末、年始を迎え懸念される野菜の高騰について「卸売二社だけに任せず、中央卸売市場の開設者である、札幌市が本州などの産地に、葉もの野菜の出荷要請をすべき。」と質問しました。

田中副市長は、「宮城、福島、群馬などのJA全農に、市職員が卸売業者とともに直接出向き、出荷要請をしてきた。」と状況を説明し、「今後も出荷要請をするなど、生鮮野菜などの安定供給に努めたい。」と答弁しました。

無料生活相談

随時受付付け致します。

午前10時から
午後5時まで

無料法律相談

2月4日(金)
午後2時より

・事前に予約が必要です。当日は弁護士が相談をお受け致します。
・1月はお休みですが、緊急の場合はご連絡ください。

TEL 684-4533

DVの根絶に向けて

12月15日

ジェンダーフリーていね主催のDV公開学習会が開催され、井上議員も参加しました。

NPO法人「女のスペース、おん」代表理事の近藤恵子さんが、DVの根絶に向けてと題して講演を行いました。不平等なパートナーの間におこる暴力であり、大きな社会の変革が求められていることが伝わってきました。

北朝鮮拉致問題について

十六日、手稲駅北口で朝宣伝を行い、赤旗日刊紙を配布しました。

横田めぐみさん、松木薫さんの「遺骨」とされた骨が虚偽だったことで国民の怒りが噴き出し、新たな重大な局面が生じています。

日本共産党の志位委員長は拉致問題の全貌を知り、解決に責任を負える権限を持った人物を交渉の当事者にすべき。」と打開の方向を提起し、首相に申し入れを行いました。

細田官房長官は、「真摯に受け止める。(しんし)」と答えました。

朝宣伝の様子

★発行にあたって★

今年もあと十数日、三度、議会に送り出していただいてはや二年を過ぎようとしています。議員の議会活動、調査活動、相談活動と東奔西走の日々の一端をお知らせ出来ればと思い発行致しました。ご愛読ください。